

交渉速報

J R 貨物労組本部業務部

2011年6月15日

No.24

2011年度夏季手当妥結！

基準内賃金×1.63ヶ月

(22年度黒字決算及び震災復旧に対する労苦に報い0.05ヶ月分含む)

2011年度夏季手当交渉最終報告

中央本部は、夏季手当獲得に向け断続的に交渉・折衝（トップ交渉を含む）を行い、職場からの闘いと結合し最後まで要求実現に向けて粘り強い闘いを展開してきました。本日 18時45分より夏季手当の最終交渉に臨み、席上会社は基準内賃金×1.63ヶ月分（黒字決算と震災復旧に対する労苦に報い0.05ヶ月含む）とする回答を示しました。

回答にあたり会社は、①東日本大震災を受け、社員の頑張りにより 22 年度の黒字と震災の労苦に答えることが大事と判断しメリハリをつけて回答したい。②今年度はこの状態では客観的に見れば赤字にならざるを得ない状況であるが、収入拡大に努め最後まで黒字を諦めることなく頑張っていきたいとの考え方を示しました。

これに対し中央本部は、①東日本大震災がもたらした影響は大きく置かれている状況の認識に違いはない。②3年連続赤字にしないために 22 年度は定昇凍結を行い黒字を計上した。黒字を出した達成感がないと次への意欲がわからない。③無利子貸付や概算要求等政治的課題がある中で交渉であったが、全社員の労苦に報いることを受け止める。④経営陣は最先頭でこの危機を乗り切るために努力をすること。⑤経営陣を増やしたことは納得出来ない。⑥真面目に働いている人とそうでない人を区別することを会社と確認し、夏季手当について妥結することとしました。

組合員の皆さん、最後まで職場からの要請行動・FAX行動・激励行動・炊き出しなど創意工夫した取り組みに感謝を申し上げます。先行き不透明と言いながら役員増をする理不尽な経営姿勢を糾し、自らの雇用と生活を自らの手で守るため、具体的な闘いを今後も職場から創り出そうではありませんか！中央本部はその最先頭で奮闘することを明らかにし、夏季手当交渉最終報告とします。

以上